

ラジコン式バックホウ操作訓練を実施しました

実施日時:令和2年2月5日(水)~6日(木)

実施場所:四国技術事務所

1. 概要

四国技術事務所では、二次災害の恐れがある危険な災害現場において、オペレータが機械本体から最大150m離れた安全な場所からラジコン操作できる、ラジコン式バックホウの操作訓練を実施しました。この訓練は、災害発生時に迅速に活動できるよう、ラジコン式バックホウの技術者を養成することを目的に平成18年度から行っているものです。

今年の訓練では、整備局職員と香川・徳島県内の事務所と災害協定等を結んでいる建設会社等のオペレータ 26名が参加し、訓練修了者は310名に達しました。

2. 実施状況

訓練は、四国技術事務所が保有している1.0m³級ラジコン式バックホウと0.45m³級ラジコン式バックホウの2台で実施しました。

◆ 1.0m³級ラジコン式バックホウ



- ・災害現場を想定し、カメラ映像のみによるラジコン操作訓練（参加者全員を対象に実施）

※照明車のカメラによる全景映像と、バックホウ装着カメラ3台（機体の前・後・掘削する足下）にて参加者が機体周囲を安全確認します。

◆ 0.45m³級ラジコン式バックホウ



- ・遠隔から目視によるラジコン操作訓練（参加者全員を対象に実施）